品種登録出願中・海外持出禁止

イタリアンライグラス いもち病抵抗性 極早生品種

キュウシュウ ワン Kyushu 1

「Kyushu 1」はいもち病に強い！

温暖化で「いもち病」発病増加中
9月中の播種は抵抗性品種を！

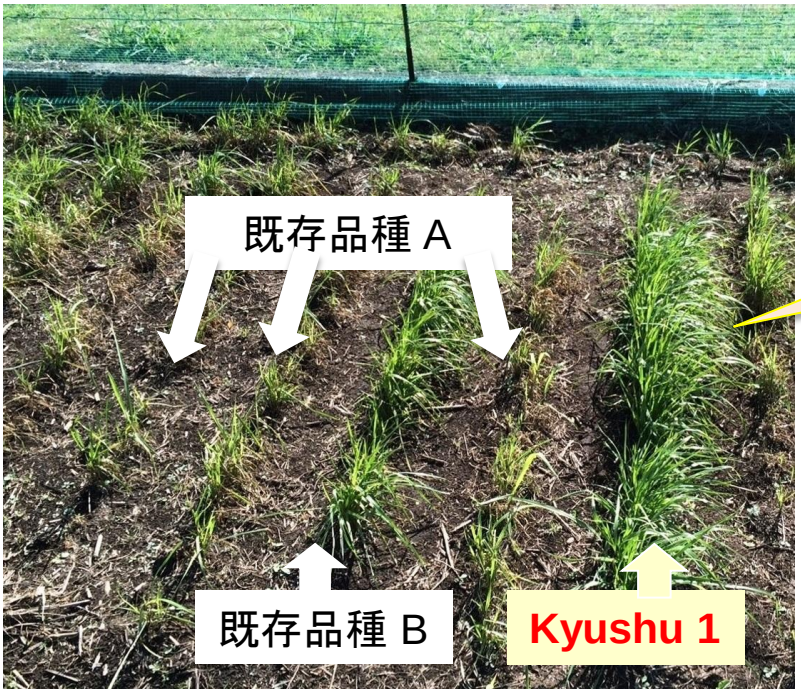


写真1　ｲﾀﾘｱﾝﾗｲｸﾞﾗｽのいもち病の被害程度の違い
（2014年8月26日播種、10月7日撮影、熊本県合志市）

「既存品種 A」:いもち病への抵抗性の無い品種
「既存品種 B」:従来のいもち病抵抗性品種
「Kyushu 1」:いもち病抵抗性が強化された品種

写真2　イタリアンライグラスいもち病の典型的な病斑。

いもち病が大発生した2016年秋には「Kyushu 1」が抵抗性を発揮！

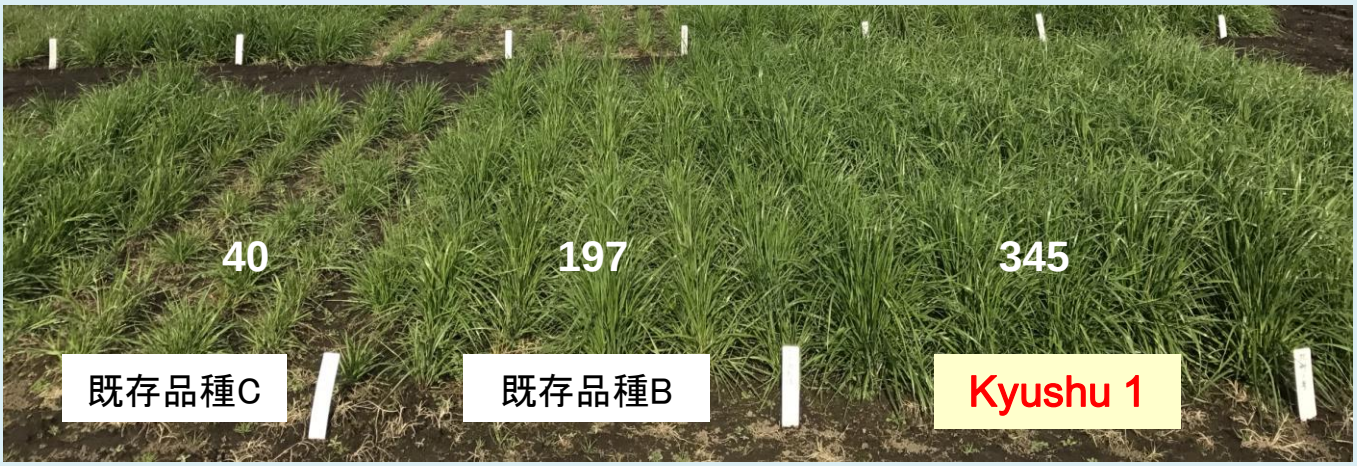


写真3　極早生イタリアンライグラスの生産力検定試験の年内草の状況
2016年9月12日播種、12月7日撮影、九州沖縄農業研究センター（熊本県合志市）
撮影図内の数値は、12月15日収穫の年内乾物収量 (kg/10a)

この年内草に加えて ⇒

既存品種 C	既存品種 B	Kyushu 1
379	641	651

春１番草の乾物収量(3/30収穫、kg/10a)

いもち病抵抗性の強化で、年内草も春１番草も乾物収量が多収！

一般社団法人　日本草地畜産種子協会　03-3251-6501

「Kyushu 1」を使って、周年収量ＵＰ！！

いもち病抵抗性品種Bに比べ、さらに抵抗性がパワーアップ！（右写真）

↓

いもち病発生の恐れのある９月中の播種も安心して行える

↓

年内草で多収！
再生の春１番草も多収！

写真4 「Kyushu 1」(左)　「既存品種B」(右)
2016年9月16日播種、11月30日撮影。九州沖縄農業研究センター

「Kyushu 1」雑草がほとんどない
「既存品種B」雑草が目立つ

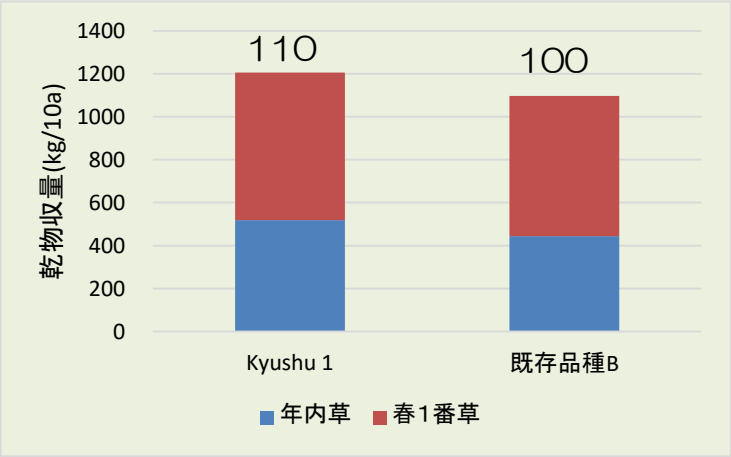


図1 「Kyushu 1」と「既存品種 B」の年内草と春1番草の合計乾物収量。九州地域の6場所3カ年(2014年～2016年播種)の平均。

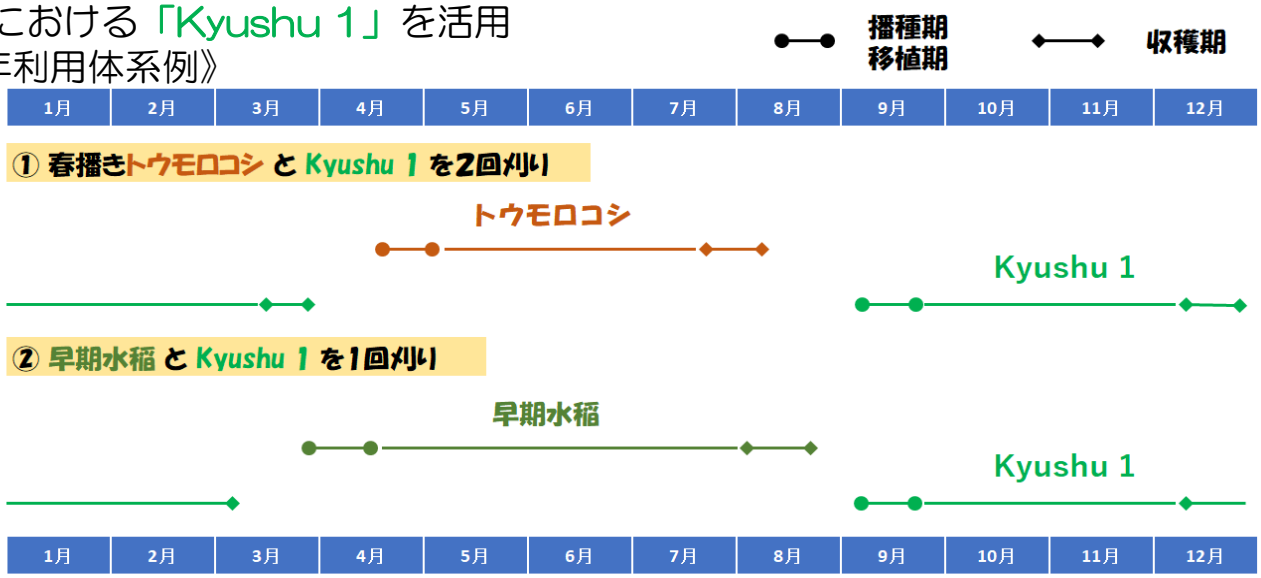
【熊本における播種期別
再生草の出穂始めの日】

○　９月播種時（はや播き時）
⇒ **3月21日**

○　10月播種時（通常播き時）
⇒ **3月24日**

九州では３月中に春１番草が収穫できる極早生品種です

《九州地域における「Kyushu 1」を活用した周年利用体系例》



【育成機関】お問い合わせ先：
農研機構　九州沖縄農業研究センター　畜産草地研究領域
飼料作物育種グループ　ＴＥＬ：０９６－２４２－７７５５